

20年東京五輪・パラリンピック：ボランティア参加を 来月16日にシンポ /千葉

2018/06/02 毎日新聞 地方版 26ページ 423文字

2020年東京五輪・パラリンピックのボランティア募集に向けたシンポジウム（県主催、千葉市、成田市、浦安市、一宮町共催）が7月16日に開かれる。県民にボランティアの意義を知ってもらい、積極的な参加を促すため、1日から参加者を募集している。

県県民生活・文化課によると、県内では五輪・パラリンピック期間中に交通・観光案内を担当する都市ボランティア約3000人を9月中旬から募集する予定。

シンポジウムでは主な募集要件や業務内容などを説明するほか、フェンシングの五輪銀メダルで日本フェンシング協会会長の太田雄貴さんが基調講演する。平昌冬季五輪に学生ボランティアを派遣した神田外語大（千葉市美浜区）の担当者による成果報告などもある。

参加費無料。定員500人。申し込みはインターネットの専用ページか、はがきなどに氏名、電話番号、住所などを明記して同課に郵送する。応募者多数の場合は抽選となる。問い合わせは同課（043・223・4147）。【加藤昌平】

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.